

第3回 国税庁所管統計の整備に関する検討会

議事要旨

日時：令和4年5月24日（火）13：30～15：30

場所：Web開催

事務局から、配付資料1及び2に基づき説明を行い、その後、以下のとおり、各委員から御意見等を頂いた。

1 民間給与実態統計調査の復元推計手法について（資料1関係）

- ・見直し項目として、「母集団名簿の整備」については、復元推計手法として、優れた方法となっており、「階層が異なることとなった事業所への対応」についても、妥当な方法となっている。
- ・見直しの実施に当たっては、1頁に列挙されている項目ごとに、推計値に対し、それぞれ、どのような影響を与えるかが分かると説得力が増すだろう。
- ・今回の見直しについては、税務データを副次的情報として活用するなど、国税庁ならではの検討項目もあり、とても良い見直しになるだろう。

2 会社標本調査の見直しについて（資料2関係）

- ・資料に記載されているとおり、検討を進めてよいと思う。
- ・国税総合管理システム（KSKシステム）から取得可能な項目や決算書情報（e-Tax）のデータの使用に当たっては、誤ったデータが入らないように、チェックをしっかりと行った方がよいだろう。

以上